

その他各委員会の活動

【文教厚生委員会】

文教厚生委員会では、調川保育所の民営化に伴う公募について、2月7日に、左記のとおり市長へ申入れを行いました。

「松浦市立調川保育所設置・運営事業者募集に関する申入書」

本委員会では、調川保育所の民営化に伴う2度の公募によっても事業者の決定がなされなかった事案について、令和2年1月15日に委員会協議会を開催し、担当課から経緯の説明を求めました。

調川保育所については、「公立保育所を1か所残す」という市の方針を平成28年に転換し、平成31年には民営化計画の内容確認、内部調整、市議会への説明等を行った経緯があります。施設の老朽化、少子化による定員割れ等管理運営の見直しが必要であるということについては本委員会でも承知しており、市による「民営化が望ましい」との見解に対し異論を挟む余地はないものと考えます。

しかしながら、2度にわたる公募の結果、応募する事業者がなかった事実は看過できるものではないことから、公募内容の見直し等今後の対

応はいかにあるべきかを慎重に協議いたしました。

以上のことを踏まえ、調川保育所設置・運営事業者募集について、下記のとおり再考を申し入れます。

記

1 これまでの保育事業に関しては、市内事業者が大きな役割を果たされており、今後も市内保育事業者に依拠した保育事業が行われることを望む。

2 現在松浦市では、松浦市保育会を中心としたバランスの取れた保育が実践されており、市外事業者の参入はそれを妨げ、これまで培ってきた地域に密着した保育がなし崩しになるものと危惧する。

3 今後の募集の在り方については、松浦市が相応の負担を伴うことを念頭に、市内事業者が参入できるように応募の条件緩和を行うこと。



【議会改革特別委員会】

本委員会は議長を除く全議員で構成され、これまでに11回の委員会開催及び2回の先進地調査を実施し、協議を重ねてきました。

まず、取り組み課題について、各委員にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ、次の3項目から取り組みました。

①議会のICT化推進

これまで議会中継はパソコンのみ視聴が可能でしたが、平成31年4月からスマートフォンやタブレットでも可能となり、市民の皆様が議会中継へアクセスしやすくなりました。

また、議会のペーパーレス化を中心に研修や検討を行い、協議の結果、電子データによる議会関連資料やその他関連資料の共有、情報の伝達・共有及びペーパーレス化会議を実現するためのツールを導入・運営することにより、議会運営の活性化・議会活動の効率化を図ることを目的として、ペーパーレス会議システムとタブレット端末を令和2年度から導入することを決定しました。なお、通信料の2分の1を各議員が負担することといたしました。

②市民アンケートの実施に向けた検討

平成30年9月に市民アンケートを実施し、614人の方から回答をいただきました。

アンケートの結果については、平成31年2月に市議会だよりに掲載し、詳細についてはホームページに掲載するとともに、市役所ロビー・各支所・出張所・公民館に冊子にして設置しました。

アンケート実施後、議員研修会の開催や議会基本条例の制定に向けて、協議を行っているところです。

③議会基本条例の情報収集及び検討

これまで収集してきた情報や協議により、委員会としての方向性が決まり、令和元年9月、議会基本条例の骨格を作る小委員会を設置しました。

今後も、本特別委員会の目的である議会機能の充実・強化及び議会活動の活性化につながる施策について協議し、議会改革に取り組んでいきます。